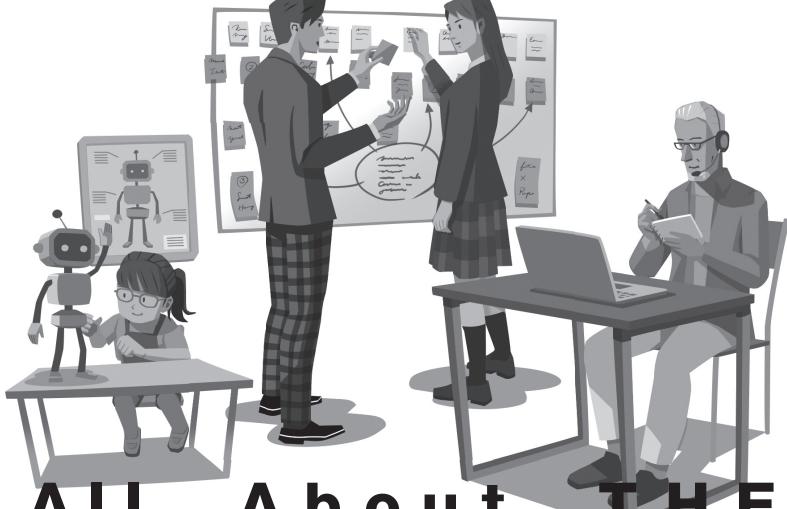


教育ビジネス

子育て世代から専門家まで楽しめる教育の教養

宮田純也
Naoya Miyata



ALL ABOUT THE
**EDUCATION
BUSINESS**

CROSSMEDIA PUBLISHING

はじめに 教育界で起こっている150年ぶりの大転換

日本の教育界はいま、明治時代以来およそ150年ぶりの大転換期を迎えて います。この流れは日本にとどまらず、世界中で起こっている現象です。

「人生100年時代」の提唱者で、人材論・組織論の世界的権威であり、ロンドン・ビジネス・スクールの教授を務めるリンダ・グラットン氏は「新時代に突入した私たちは従来の学校が果たしてきた役割や意義を再定義する必要がある」と述べています。

教育の世界は、すでに学校教育を経験した私たちの時代とは大きく形を変えようとしているのです。

その背景にあるのは、現在進行中の「情報革命」です。私たちは、人類史上3度目の社会革命が起こり、社会の形やあり方が大きく変わる時代に生きているのです。

これまで、与えられた価値観や目標のもとに行動する人を育てる教育で問題ありませんでした。しかし、これからは自らさまざまな価値観や目標をつくり、行動する能動的な

人を育む教育に転換する必要があります。

教育という言葉は、古代中国の孔子や孟子の時代にまでさかのぼることができます。中國の古典『孟子』では、この言葉が「教えて之を育む」という意味で使われています。「教育」とは、誰かに学びを提供し、その人を育成していく活動だと言えるでしょう。

それでは、そもそも人は何のために学ぶのでしょうか。

自分自身の自己実現のため、そして、その結果として、よりよい社会を創るためです。そうだとすれば、教育業界の大転換はこれから教育を受ける子どもたちだけに関係するものではありません。

社会が大きく変化する時代を生きる私たち自身にとつても、学んで行動していくことが、よりよい人生やキャリア形成のためにより一層大切になってきます。だから、教育業界の大転換は、子育て世代はもちろん、あらゆる世代に関係する事象だと言えます。

教育を取り巻く業界の大きなトレンドは、デジタル化による多様化・多極化です。私たちの社会はデジタル技術によつて変革がもたらされます。それによつて、社会と人生は、

一層多様化していきます。

「このような時代によりよく生きることを目指すとき、教育という営みはやはり一人ひとりにとって重要性を増していきます。さらに、社会の多様化によって「教育」の概念や取り組み自体も多様化していくのです。それに対応し、さまざまな「教育ビジネス」が登場しつつあります。教育ビジネスにも地殻変動が起ころっているのです。

「学ぶこと」に関わるビジネスを「教育ビジネス」と呼ぶとすれば、教育ビジネスはあらゆるところに存在します。たとえばYouTubeで何らかの学習コンテンツを配信することも教育ビジネスだと言えるでしょう。教育ビジネスは私たちの身近にあふれ、私たちの生活に組み込まれています。また、自らがサービスを受ける側になるだけではなく、サービスを提供する側になることも比較的容易でしょう。

したがって、本書の対象者は、現役の先生や先生を目指す方、そしてすでに教育業界に従事している方だけではありません。教育に関心のある保護者の方、学びを通してよりよいキャリアをつくっていきたい方、さらには自らの問題意識を掘り下げることで、教育に関わるサービスを新たに展開することに関心がある方など、さまざまな方の役に立つ本を

目指しています。

私自身は、さまざまな役割で教育に携わってきました。まず、主に学校教育を主領域として全国から数千人の教職員などが参加する日本最大級の教育イベント「未来の先生フォーラム」創設をはじめ、さまざまなプロジェクトをプロデュースしてきました。

さらに、自らも起業して、朝日新聞社に自分の立ち上げた企業を売却すること（いわゆるEXIT）も経験しました。そして、現在は学校法人宇都宮海星学園の理事と公立大學法人 横浜市立大学の特任准教授も務めています。

このように公教育から教育ビジネスまで幅広く関わるなかで得られた知見を活かして、本書を執筆しています。

本書では、学校教育とそれを取り巻く環境を中心に、変化する時代の変化する教育ビジネスについて、多角的な視点でその現在と未来について幅広く取り上げていきます。

教育という営みについては、それぞれの方の経験にもとづいた先入観があるのではないかなと思います。本書では「教育」の本質的・普遍的な側面にも触れながら、「最近はこんな

風になつてゐるのか!」といつた驚きによつて先入觀を取り扱うことで、大きく変わる教育ビジネスについての知見が深まるような内容をできるだけ扱つていくことを心がけています。

最初からすべてを読まなくとも、興味のあるところを読んでいただくだけで理解が深まると思います。ぜひ肩の力を抜いてお楽しみください。

最後に、2点、断りを入れさせてください。

1つ目は、本書は「教育ビジネス」を標榜していますが、ビジネスではない公教育について取り上げていることです。専門家や業界の方からすれば、両者が一緒に語られることに違和感を覚えるかもしれません。

ですが、いま私たちが生きている高度情報社会では、さまざまな壁が融解し、重なり合ふことで新たなものが生まれ、進化しています。教育もこの流れを免れることはできません。そんな状況を解説する本書を読み進めれば、教育ビジネスと公教育を関連づけて取り上げることの意義を理解いただけるのではないかと考えています。

2つ目は、できるだけさまざまのトピックを紹介したいと考えているので、入門レベルの内容になつていることです。本書がさらに学びを深めていただきつかけになれば嬉しい

はじめに

く思います。

それでは、大きな転換期を迎えている教育ビジネスの現在と未来について、一緒に学んでいきましょう！

はじめに 教育界で起こっている150年ぶりの大転換 002

第1章 Chapter 1 : The World of School Education

明治維新とGIGAスクール構想 から学ぶ学校教育の世界

教育の大転換の背景にあるもの	016
「人生100年時代」に求められる力	021
なぜ教育が大切なのか	025
世界で最初の学校	029
明治時代に公教育が生まれた理由	033
市場化が進む公教育	037

COLUMN

学校教育だけが公教育ではない 041

第2章 Chapter 2 : The World of Educators

「チーマとヒートの学校」から学ぶ 教育従事者の世界

1	先生と教員はどう違うのか	046
2	なぜ教育改革を進めるとは難しいのか	050
3	ティーチングからコーチングへ	054
4	なぜ教員の仕事は「ブラック化」してしまったのか	058
5	スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラー	062
6	教員と企業が共創する時代へ	065
COLUMN	よつよい公教育を実現するために必要なこと	069

第3章 Chapter 3: The World of Curriculum

探究学齋から学ぶ カリキュラムの世界

1 学習指導要領はどうやって決まるのか	074
2 学校のカリキュラムはどうやって決まるのか	077
3 コンピテンシーベースの学びとは何か	081
4 新型コロナが学校教育に与えた衝撃	086
5 探究学習が授業の中心になる時代	091
6 多様化する教材やプログラム	094

COLUMN 世界の教育改革はいま、何に向かっているのか

098

第4章 Chapter 4 : The World of Educational Problems

不登校から学ぶ教育問題の世界

第5章 Chapter 5 : The World of Educational Institutions

少子化から学ぶ教育機関の世界

不登校とは何か	104
学びへの意欲を失う子どもたち	108
心理的虐待と不登校	112
教室マルトリートメント	116
発達障害のある子どもを支援する	120
学校以外の多様な学びの発展	124
COLUMN 民間企業が教育問題の解決に貢献する	128
進む少子化とその影響	134
大学全入時代とは何か	137
日本・ドイツ・アメリカの教育制度	142
新たな学校の増加	148
「人生100年時代」と生涯学習	152
COLUMN レクリエーションからリ・クリエーションへ	156

第6章 Chapter 6 : The World of Exam-Oriented Education

STEAM教育から学ぶ 受験教育の世界

『新題のすゝめ』かふ原ひめの学歴社会と試験	160
高大接続改革が目指すもの	163
逆風の塾業界	167
低年齢・過熱化する中学受験	172
塾業界で広がるSTEAM教育	175
COLUMN 問われる親の「教育リテラシー」	178

第7章 Chapter 7 : The World of Private Education

アフタースクールから学ぶ 私教育の世界

なぜ幼児教育は大切なのか	184
変わる放課後の過ごし方	187
インターナショナルスクールの台頭	191
増加する海外進学と留学	194
私教育の興隆	198
大人にこそ学びが必要な時代	201
COLUMN 多種多様な幼児教育機関	204
協働学習から学ぶ オンライン教育の世界	210
ひとつになる世界とオンライン教育の広がり	210
通信制高校の台頭	213
ICTが可能にする学びの精密化	218
全米一の進学校のオンライン教育	222
協働学習の重要性	225

A—Iから学ぶ これからのお教育ビジネスの世界

第9章 Chapter 9 : The Future of Education Business

6 マイクロラーニング需要の高まり 230

COLUMN オンライン教育の代表的な方法 235

生成A—Iと教育の現在地 240	1
知行合一とナラティブの重要性 243	2
創造性を高めるアントレプレナーシップ教育 246	3
意思決定の力を鍛える金融教育 249	4
進化するキャリア教育 252	5
私教育が人生DX時代の鍵を握る 256	6
COLUMN A—I時代のキャリアと人生形成に大切なことは何か 259	
おわりに 教育という営みの奥深さ 265	
参考資料 268	